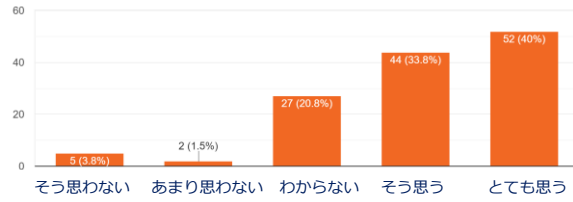


アンケート集計結果

回答数：131（11/24現在）

●●●地域への愛着、地域課題・整備提案への印象やご意見・アイデアを伺いました。

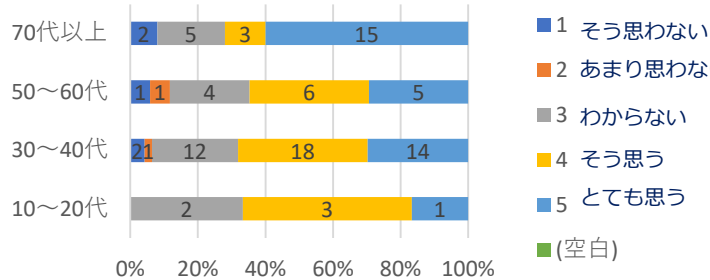
Q. あなたは鶴見区に対して、
愛着や誇りを感じていますか？



- ・あったかい町だから ・親しみやすい
- ・長年住んでいる(多数)
- ・長く在住していて良いところも悪い所?も実感
- ・駅前が充実していて住みやすい
- ・生活も交通も便利です

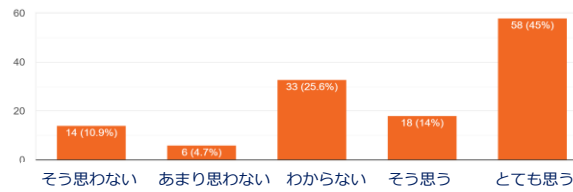
2016年度の「横浜市民意識調査」によると、鶴見区民の区への愛着度は市内18区のうち最下位。愛着度が低い傾向は過去の調査から続いている。整備拠点地域の皆さんはどのように感じているのか？

- ・生まれてからずっとつるみに住んでいるから
- ・下町的で人情味がある。
- ・人が優しい ・あったかいまちだから♪
- ・子供を育て、これからも長く住む町だから。
- ・地元の間人ではないので
- ・鶴見区で生まれてないから
- ・人種が多様で治安が悪い
- ・あまり行くところがない
- ・イトーヨーカドーで遊ぶ人が多い etc...



最も愛着を感じている年代は、70代以上、年齢が高く居住年数が長いほど地域への愛着が高く、「人の優しさ」「親しみやすさ」などが背景となっていることが読み取れる。一方、アンケートの各設問において、人との関わりについての記述が多い。

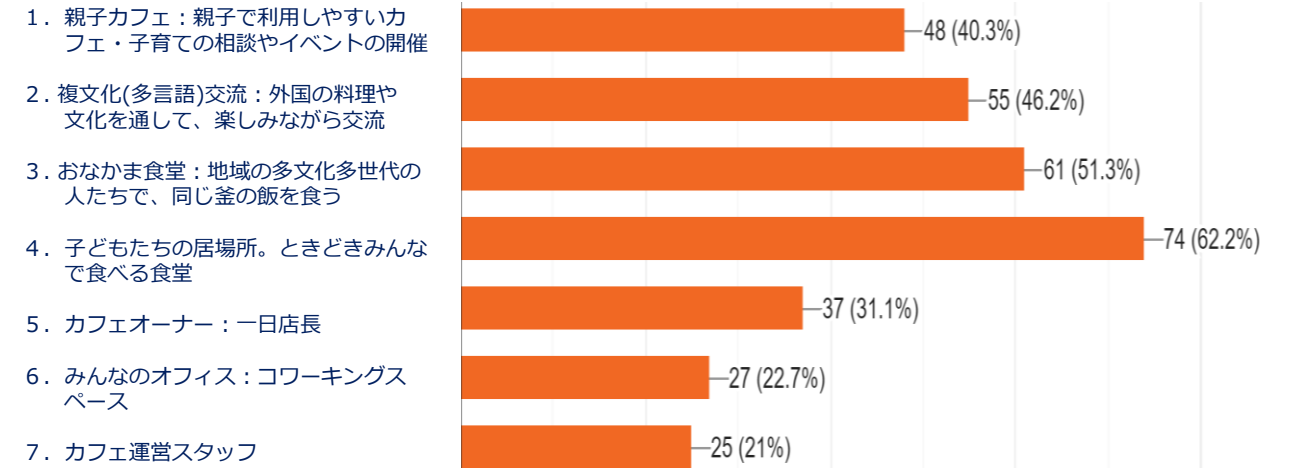
Q.京急鶴見駅近くに地域に暮らす人たち（子どもからお年寄り、多国籍の方々）
が集まる場所があったら、利用したいと思いませんか？



- ・利用できる場所が少ないから
- ・会社と家の往復だけなので、地域と交流したい。
- ・子どもに日本人の子どもと交流させたい。
- ・親も日本人の友達が欲しい。自分の子どもに母国の文化を知ってほしい。親からは嫌がる。

- ・コミュニケーションや情報を得られるから
- ・家に閉じこもっているひとも多いから
- ・これからは、今以上に多くの人とのふれあいが必要
- ・外国人との交流は他文化を知ることは重要である
- ・面白そうだし、参加してみたいと思ったので
- ・家が近いから。近所の人と顔見知りになれるのも良いと思う。学校の帰り道とかに子どもに声をかけたりしてくれると有難いです。
- ・一人ではちょっと不安
- ・楽しそう 放課後キッズはもう行きたくない
- ・みんながここにくるはべんりです

Q. つみれプロジェクトでは拠点施設の様々な企画・活用方法を考えています。
以下の中で興味のあるものを選んでください。（複数選択可）



- ・お年寄りも子どもに教えられることがある
- ・地域のこと、仕事
- ・老人の集い 外国の人たちとの交流
- ・子供の学習支援は生保世帯の子向けしかない。
- ・自分の子どももそういうところに行けると助かるのに
- ・日本の子供と外国人の子供が交流できる遊び場と居場所になったらいいと思います
- ・多職種連携の悩み相談会。障害者の相談。
- ・自分の国の料理を教え、日本の家庭料理を知りたい
- ・テスト前に静かに勉強できる場所
- ・地域のことを知れる場所
- ・パパも利用しやすいのがいいです。
- ・トイレのおむつ替えや調乳室など

Q. 鶴見区に感じていることや、拠点づくりへのご意見。

- ・知り合いがおらず困っている こんな駅前に住んでいるのに。
- ・このエリアはお年寄りが本当に多い。外に出るきっかけ、顔見知りが増えていような場がほしい
- ・マンション化が進み、ふれあいが以前より無くなっているかんじがする
- ・鶴見だけではないですが、中学校も給食をやってほしいです。東京にくらべて、児童センターのような場所が少ないので、気軽に子連れで行ける所を増やしてほしい。
- ・色々な人と出会える場として、とても大切だと思うので、ぜひ増えてほしいです。お互いの理解への第一歩にもなると思うので積極的に利用したいです。
- ・新しく入ってくる人たちが多地域なのであらたなコミュニケーションを形成できるような場ができる
- ・とよい。子育てしやすい町にしてほしい。
- ・鶴見育ちなのでいろいろ協力したいです。
- ・子どもから 老若男女皆で見守ることが必要 etc...



横浜商科大学の学生さんのご協力のもと、商店街イベントでブースを設置し実施しました。

